



联合国
粮食及
农业组织

FOOD AND
AGRICULTURE
ORGANIZATION
OF THE
UNITED NATIONS

ORGANISATION
DES NATIONS
UNIES POUR
L'ALIMENTATION
ET L'AGRICULTURE

ORGANIZACION
DE LAS NACIONES
UNIDAS PARA
LA AGRICULTURA
Y LA ALIMENTACION

منظمة
الغذية
والزراعة
للأمم
المتحدة

Liaison Office in Japan

5F Yokohama International Organizations Center, Pacifico-Yokohama,
1-1-1, Minato Mirai, Nishi-ku, Yokohama 220-0012, Japan

Tel. (045) 222-1101
Facsimile: (045) 222-1103
E-Mail Address: FAO-LOJA@FAO.ORG

F A O (国際連合食糧農業機関) 日本事務所
2009年6月17日

LOJAPR09/15-No. 137

プレスリリース

農業は他の部門より世界的な危機に対して強靱である

OECD-FAO 農業見通し2009-2018発表される

2009年6月17日、パリ・ローマ－食料は基本的に必須なものであるため、農業部門は他の産業に比べ世界的な経済危機に対する強靱性を示している。しかし17日に発表されたOECDとFAOの最新報告書によれば、景気の後退が進行するとリスクが増す可能性がある。

農産物価格や農産物の生産と消費の低下は、景気回復が2、3年以内に始まるのであれば穏やかなレベルになると見られる、とOECD-FAO 農業見通し2009-2018は述べる。景気後退が食料価格を引き下げ、景気後退で打撃を受け、消費できる金額が減っている消費者への圧力が軽減される、としている。

食料価格は2008年初頭の記録的なピークよりは下がってきているものの、依然多くの貧しい国では高水準のままである。牛肉と豚肉を除くすべての農産物は、インフレを加味調整しても、今後10年で2007-08年ピーク時以前の平均値に戻る可能性は極めて低い。

平均的な農産物価格は今後10年間、1997-2006年の平均と比較して実質ベース（インフレ調整後）で10-20%高いと予測される。植物油の価格は30%以上高いと見込まれる。

景気回復、開発途上国からの新たな食料需要の増加およびバイオ燃料市場の拡大が見込まれ、これらが中期的に農産物価格および市場を支える主要な推進力となっている。

特に農産物価格がますます石油およびエネルギー価格に連動し、環境問題の専門家が更に不安定な天候状況について警告をする中、2008年の上昇と同様な極端な価格変動の可能性を今後排除できない、と報告書は警告する。

農業生産、消費および貿易は開発途上国で増加すると見込まれるにもかかわらず、食料不安と飢餓は世界の貧しい人々にとってますます大きくなる問題である。

報告書は、貧困削減と経済成長が解決の大きな要素だとし、より長期的な問題は食料があるかどうかではなく食料が入手できるかどうかだと主張する。開発途上国の貧しい人の75%が農村に暮らすことから、農業生産の向上が持続可能な開発と貧困削減の鍵である。

報告書は、より効率的な国際支援に加え、各国政府は、例えばインフラへの投資、効率的な研究と開発のシステム構築および持続可能な土壌と水の利用へのインセンティブ提供など対象をしばった政策により、国内農業開発への最善の支援ができると述べる。

報告書はまた、農業市場の一層の開放と貧しい農村地域における農業以外を含む広範な経済開発の必要性を強調する。

英文 URL : <http://www.fao.org/news/story/en/item/20770/icode/>